

千歳市における 路線バスの利用状況について

市内路線バス利用者の推移（1日全便一斉調査）

単位：人

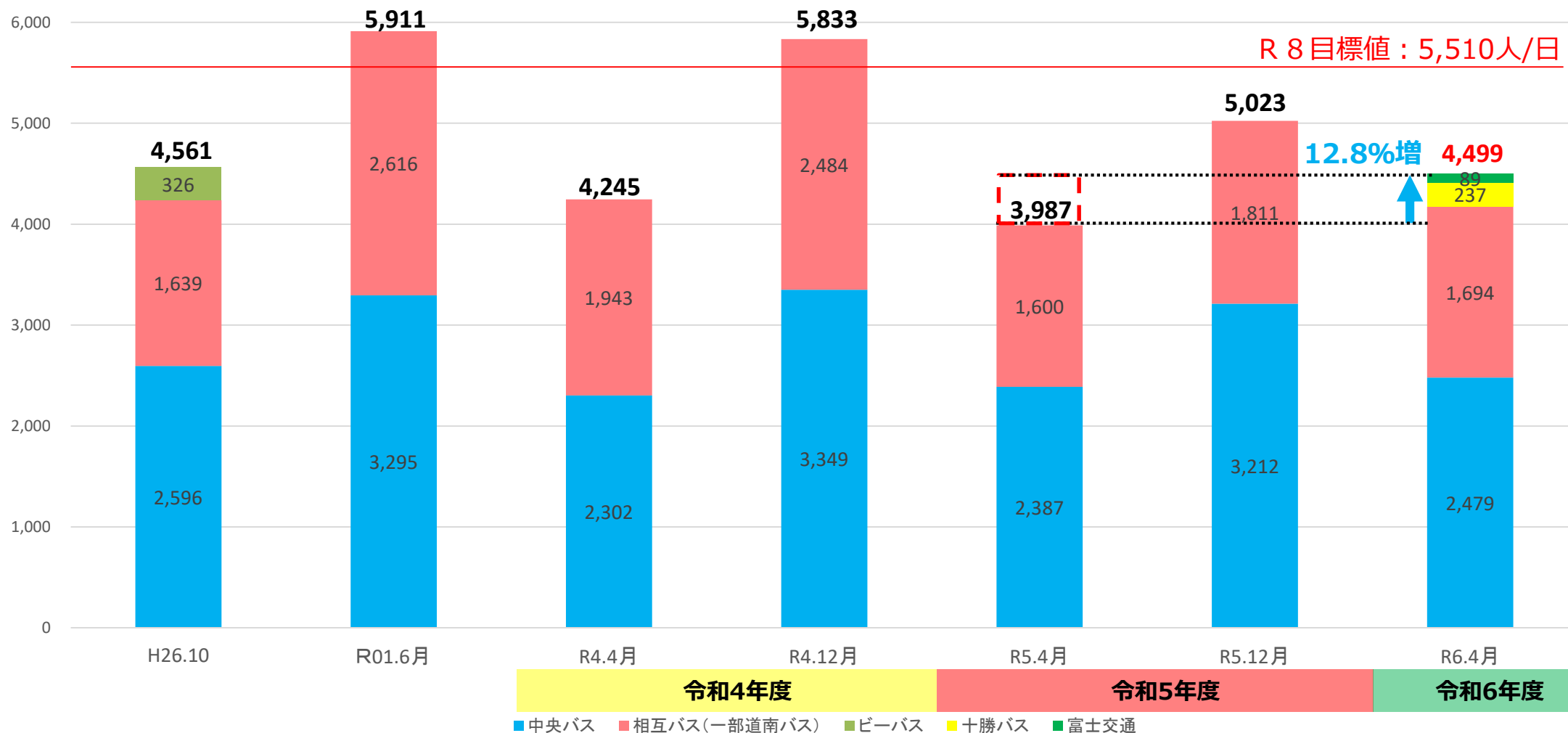
再編前

再編後

ダイヤ改正後

コロナ感染症影響下

R 8 目標値：5,510人/日



▶ 今回の調査では、昨年と比べると約13%増加している。要因としては、令和5年12月、令和6年4月にも減便を実施しているが、新千歳空港の従業員が増えていること、コロナが5類へ移行したことなどが考えられる。このまま増加した場合、目標を達成できる見込み。

キロ・便当たりの利用者数

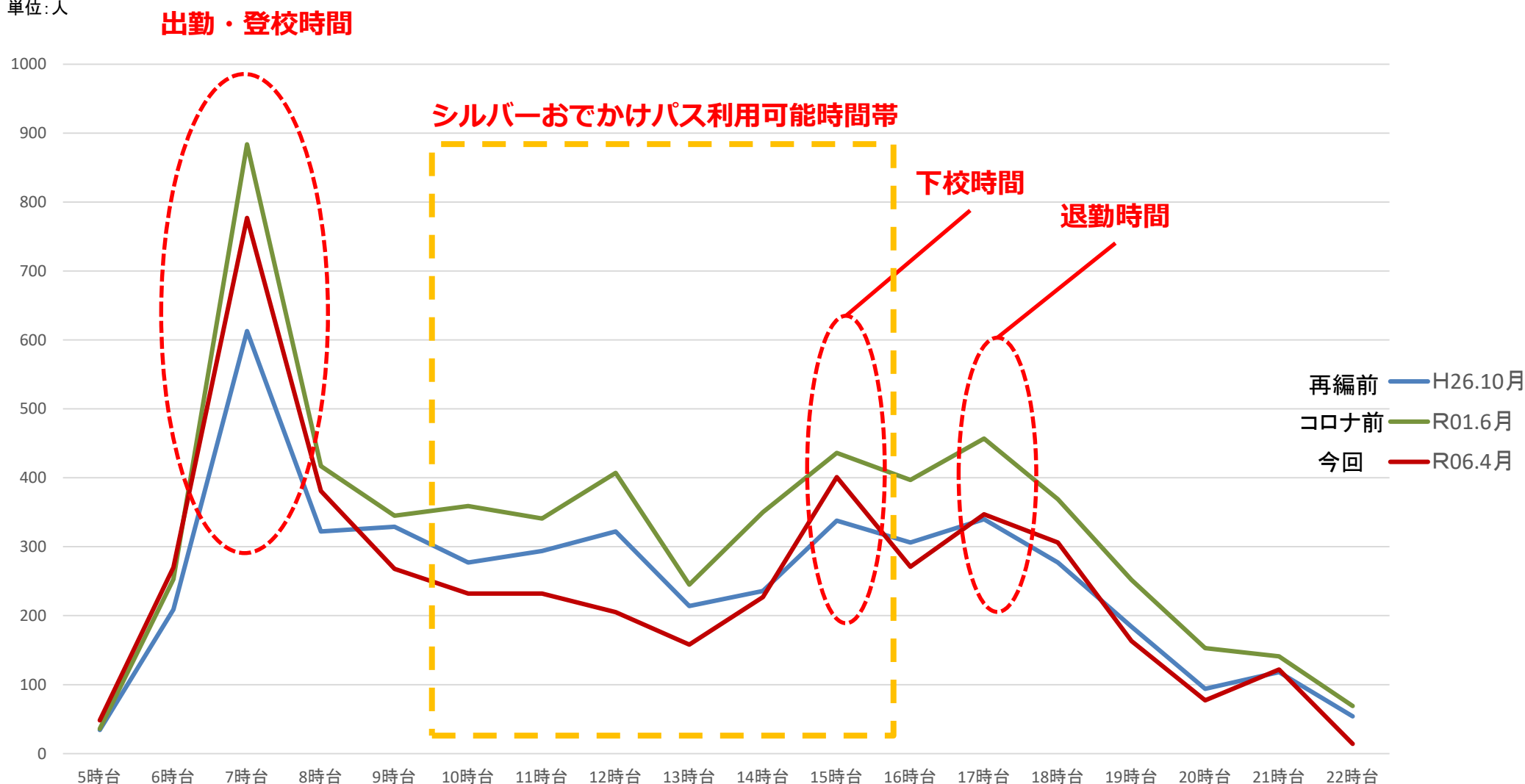
※カッコ内は 前回（令和5年4月調査）数値との差

運行路線		利用者数(人/日)	営業距離(km/日)	便数	キロ当たり利用者	便当たり平均利用者
中央バス	稲穂団地線	280(▲91)	128.8	25	2.2(+0.47)	11.2(▲2.5)
中央バス	桜木空港線	104(+14)	50.3	3	2.1(+0.47)	34.7(+4.7)
中央バス	桜木線	313(+66)	238.6	16	1.3(+0.41)	19.6(+8.9)
中央バス	みどり台空港線	76(+14)	28.6	2	2.7(+0.46)	38.0(+7.0)
中央バス	みどり台線	182(▲21)	141.4	19	1.3(+0.29)	9.6(+2.1)
中央バス	支笏湖線	119(▲33)	272.4	8	0.4(▲0.16)	14.9(▲4.1)
中央バス	新星空港線	641(+27)	378.3	29	1.7(+0.19)	22.1(+2.3)
中央バス	空港市内線	215(+12)	115.3	13	1.9(▲0.04)	16.5(▲0.4)
中央バス	東部隊線	533(+95)	223.6	36	2.4(+0.88)	14.8(+5.5)
中央バス	桜木長都線	16(+9)	9.2	2	1.7(+1.54)	8.0(+6.2)
千歳相互バス	泉沢向陽台線	380(+31)	211.1	17	1.8(+0.40)	22.4(+4.0)
千歳相互バス	泉沢市民病院線	781(+33)	554.6	34	1.4(+0.11)	23.0(+1.0)
十勝バス	図書館青葉線	237(+98)	109.2	13	2.2(+1.17)	18.2(+9.5)
富士交通	市民病院プール線	89(▲13)	69.2	9	1.3(+0.29)	9.9(+2.1)
相互・道南	勇舞空港線	533(+271)	325.7	25	1.6(+0.64)	21.3(+8.8)
合計		4,499(+512)	2,856.3	251	—	—

▶ 勇舞空港線などで増加しており、一方で、稲穂団地線などが減少している。要因は、稲穂団地線が循環路線を往復路線としたことにより稲穂団地線で利用者が減少し、代替路線となっている、勇舞空港線の利用が増加したことなどと考えている。

時間帯別利用者数推移（再編前とコロナ後）

単位: 人



▶ 7時台は、出勤と登校の利用者が集中し、1日の時間帯で最も多い。次に、15時台は下校、17時台は退勤者が多い傾向にある。

千歳駅 乗降人数の推移

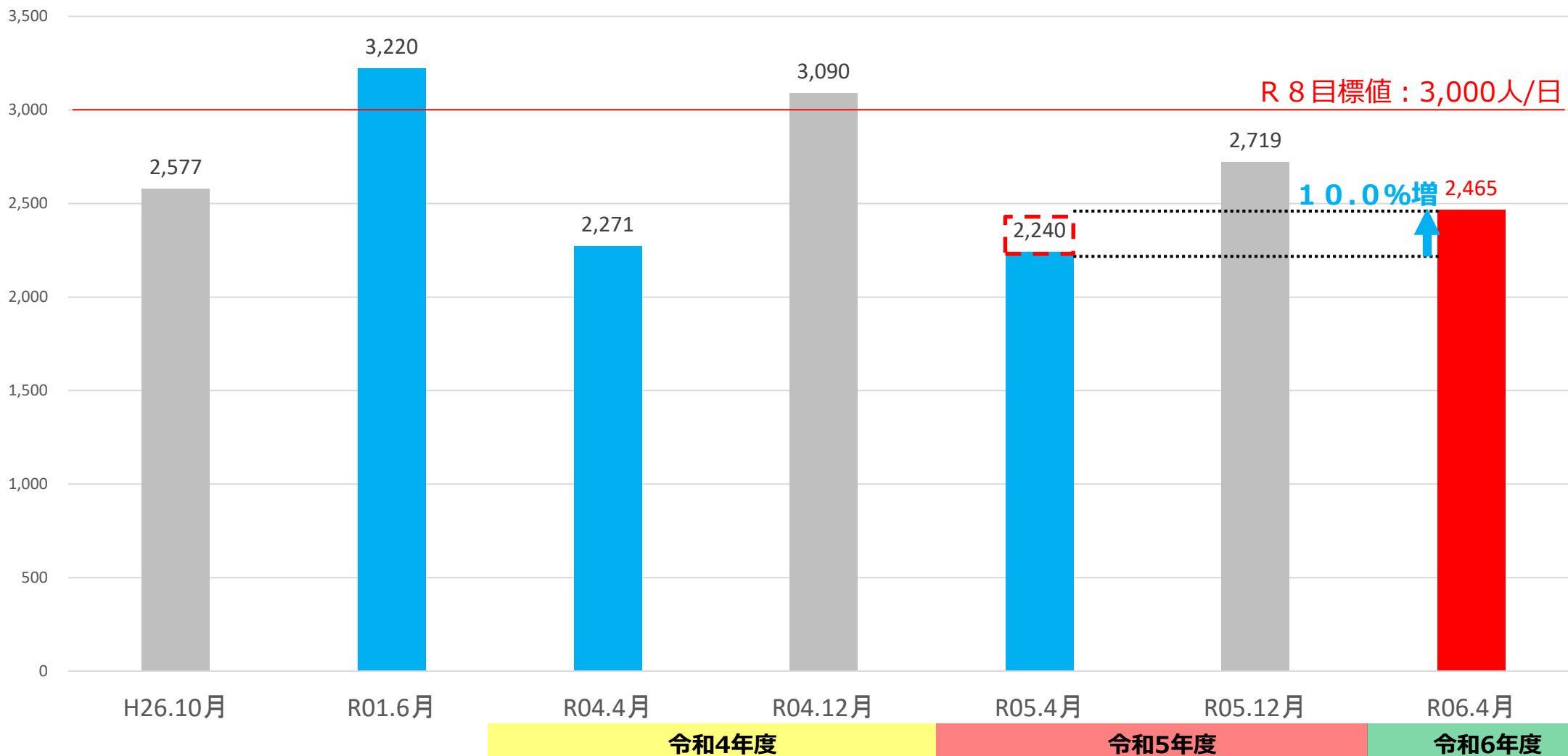
再編前

再編後

ダイヤ改正後

コロナ感染症影響下

単位: 人



▶今回の調査では、昨年と比べると約10%増加している。要因としては、令和5年12月、令和6年4月で減便しているが、コロナが5類へ移行したことなどが考えられる。このまま増加した場合、目標を概ね達成できる見込み。

新千歳空港 乗降人数の推移

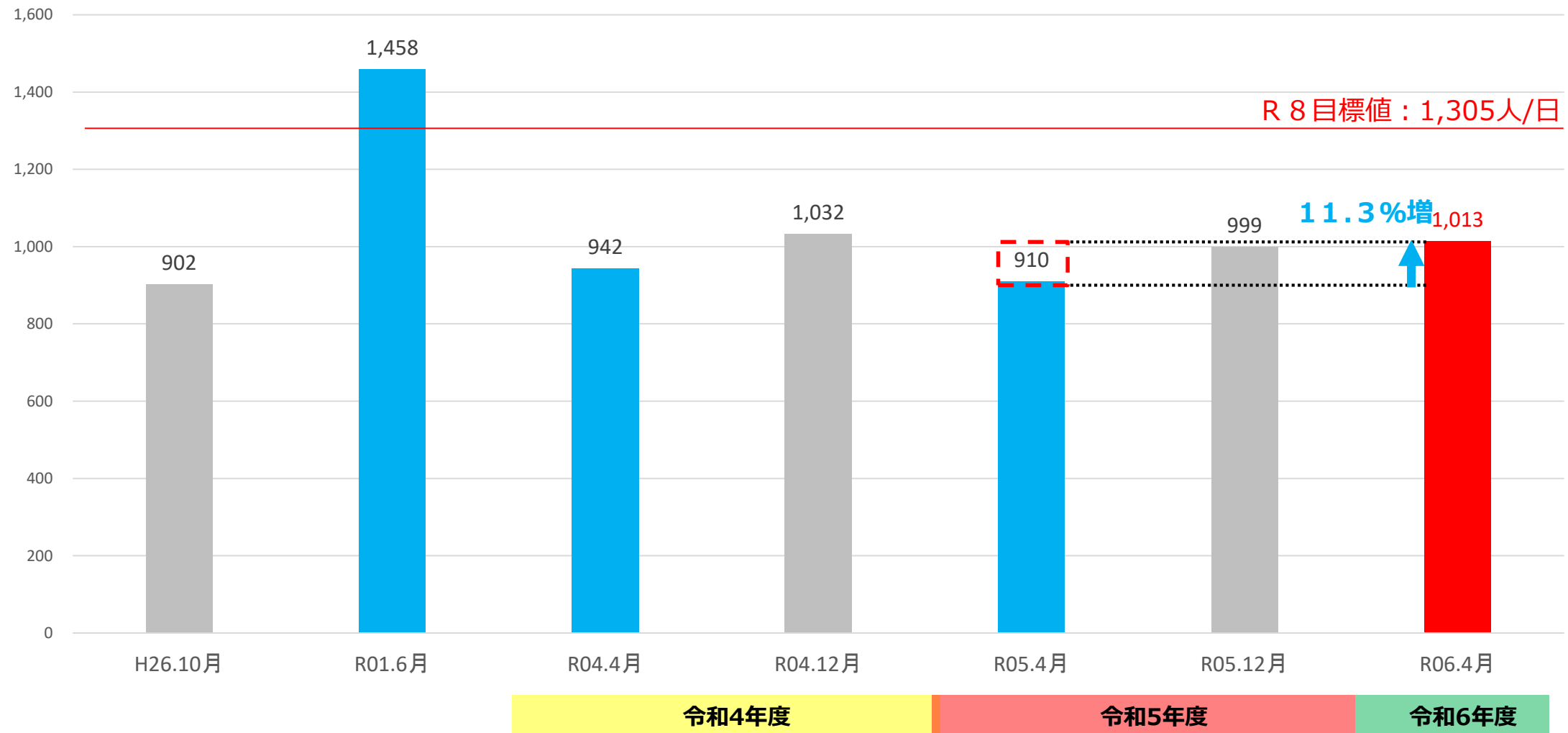
再編前

再編後

ダイヤ改正後

コロナ感染症影響下

単位: 人



▶今回の調査では、昨年と比べると約11%増加している。要因としては、令和5年12月、令和6年4月で減便しているが、コロナが5類へ移行したこと、新千歳空港の従業員の増加などが考えられる。このまま増加した場合、目標を概ね達成できる見込み。